

1 調査名称：岡山市総合都市交通体系調査

2 調査主体：岡山市

3 調査圏域：岡山市

4 調査期間：平成 29 年度～平成 30 年度

5 調査概要：

岡山市では、第六次総合計画で、これからのまちづくりの方向性として、「コンパクトでネットワーク化された都市づくり」を位置づけている。これを推進するため、岡山市総合交通計画策定調査検討会での議論を踏まえて、計画のコンセプト及び目標に基づき、持続可能な公共交通を中心とした交通体系の将来像を作成し、定量的な効果影響分析に基づく実効性の高い施策パッケージを位置づけた総合交通計画の策定を行う。

I 調査概要

1 調査名称：岡山市総合都市交通体系調査

2 報告書目次

1章 業務概要

- 1－1 業務概要
- 1－2 実施体制
- 1－3 業務の目的
- 1－4 実施方針

2章 交通ネットワークの将来像の作成

- 2－1 岡山市の現状と課題、将来見通し
- 2－2 既存調査・計画の情報整理と詳細分析
- 2－3 交通ネットワークの情報更新
- 2－4 交通実態調査
- 2－5 岡山市を取り巻く課題の整理
- 2－6 総合交通計画のコンセプトと計画の目標
- 2－7 岡山市を取り巻く課題と計画の目標の関係整理
- 2－8 交通体系の将来像
- 2－9 交通ネットワークの将来像

3章 施策の実施プログラムの作成

- 3－1 施策パッケージの作成
- 3－2 施策の詳細設定及び実施コストの試算
- 3－3 施策の実施効果・影響分析
- 3－4 施策プログラムの策定
- 3－5 路線バス改善に向けた詳細実施計画の検討

4章 総合交通計画の策定

- 4－1 計画書の作成
- 4－2 市民にわかりやすいパンフレットの作成
- 4－3 計画策定に向けた検討会及び説明会の開催支援

4-4 パブリックコメントの実施

5章 行政支援のあり方に関する検討

5-1 政令指定都市の都市交通政策への投資状況の調査

5-2 海外先進都市の都市交通政策への投資状況及び財源確保の取り組み事例の整理

5-3 岡山市の財源確保や投資のあり方に関する示唆

資料編

1 交通実態調査結果・道路通行許可申請書

2 将来交通量推計関係図面

3 アクセシビリティ算定結果

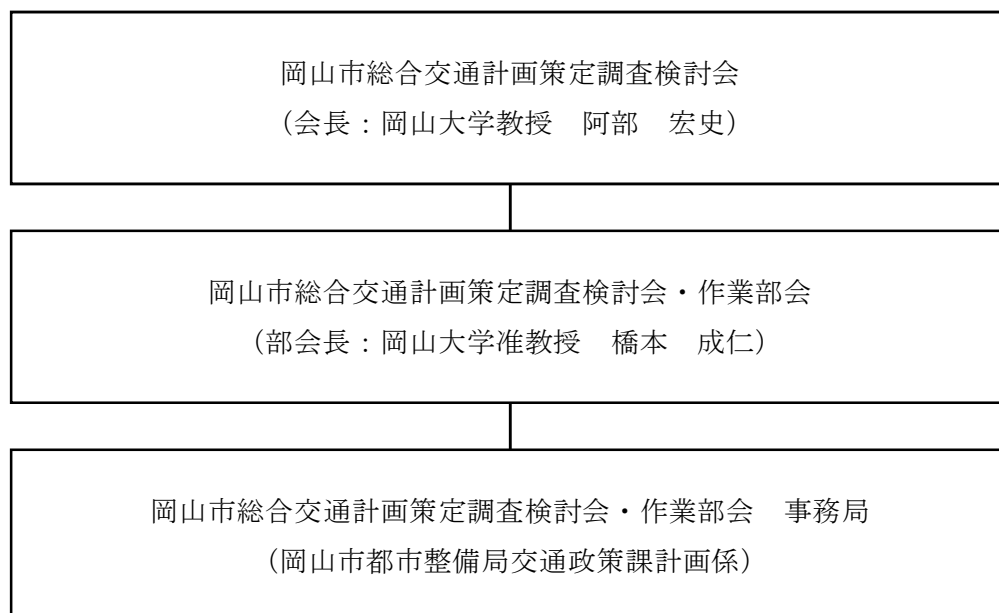
4 政令指定都市へのアンケート結果

5 検討会資料

6 作業部会資料

7 パブリックコメント資料（計画書本編・パンフレット）

3 調査体制



4 委員会名簿等：

<委員>

| 所属 | 氏名 | 検討会 | 部会 |
|------------------|--------------|-----|----|
| 岡山大学大学院環境生命科学研究科 | 教授 阿部 宏史 | ○ | |
| 岡山理科大学経営学部経営学科 | 教授 志野 敏夫 | ○ | ○ |
| 岡山大学大学院環境生命科学研究科 | 准教授 橋本 成仁 | ○ | ○ |
| 岡山大学大学院環境生命科学研究科 | 准教授 氏原 岳人 | | ○ |
| 日本政策投資銀行岡山事務所 | 所長 高橋 淳悦 | ○ | ○ |
| 岡山市連合町内会 | 会長 久世 英一 | ○ | |
| 岡山市連合町内会 | 副会長 多賀 克充 | ○ | |
| 岡山市障害者団体連合会 | 会長 宮本 敏行 | ○ | |

| | | | |
|-----------------------|-----------------------|---|---|
| 岡山市連合婦人会 | 副会長 垺和 陽子 | ○ | |
| 西日本旅客鉄道株式会社岡山支社企画課 | 課長 加藤 勇樹 | ○ | ○ |
| 岡山電気軌道株式会社 | 代表取締役専務 礒野 省吾 | ○ | ○ |
| 公益社団法人岡山県バス協会 | 専務理事 政森 毅 | ○ | ○ |
| 一般社団法人岡山県タクシー協会 | 専務理事 石井 繁次 | ○ | ○ |
| 岡山商工会議所 | 専務理事 高橋 邦彰 | ○ | ○ |
| 公益社団法人おかやま観光コンベンション協会 | 専務理事 西 正尚 | ○ | ○ |
| 岡山県警察本部交通部交通規制課 | 課長 寶満 智彦 | ○ | ○ |
| 国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所 | 所長 松野 栄明 | ○ | ○ |
| 国土交通省中国運輸局岡山運輸支局 | 支局長 岡田 和史 | ○ | ○ |
| 岡山市都市整備局 | 都市・交通・公園担当局長 栗田 泰正 | ○ | ○ |

<オブザーバー>

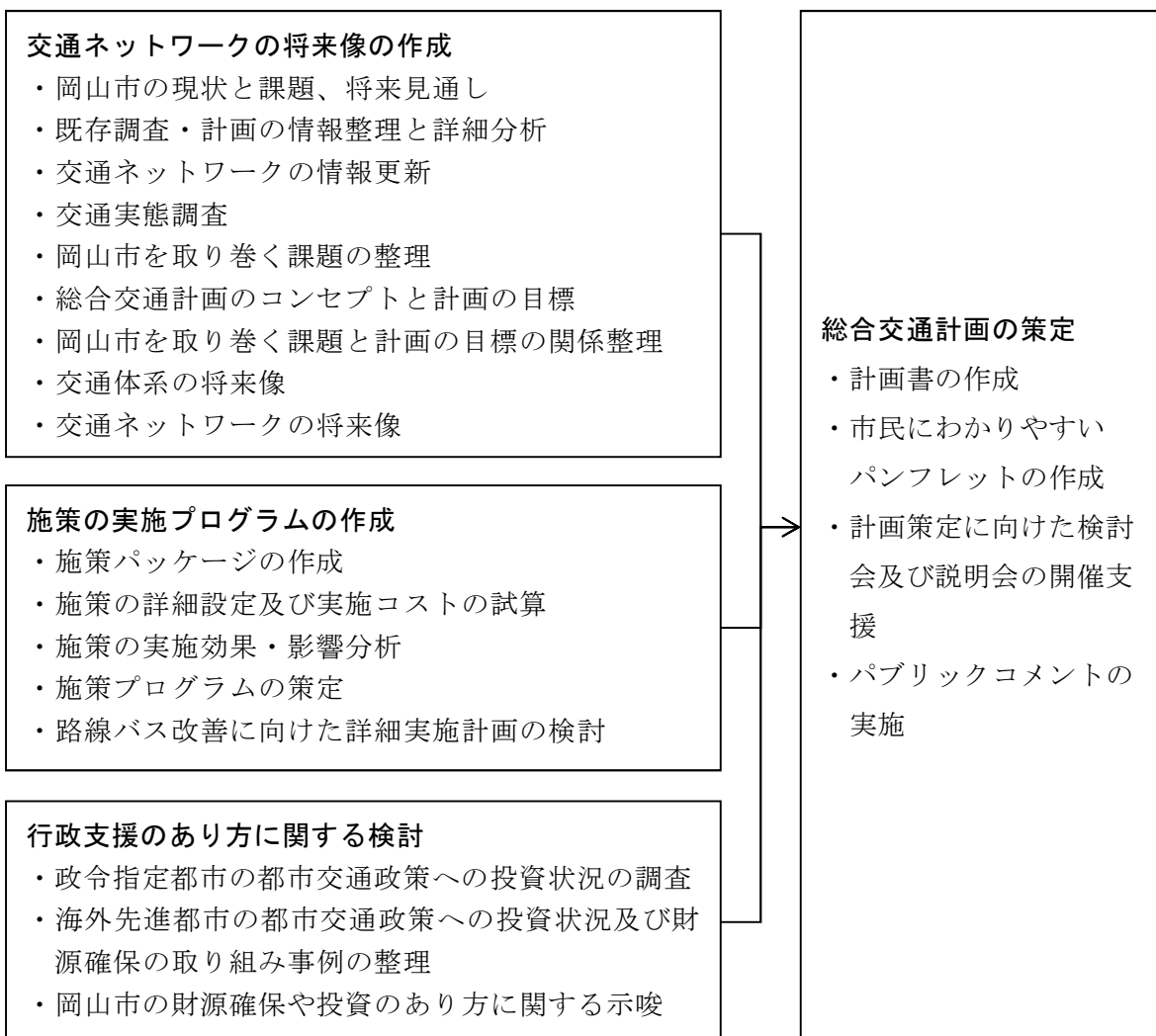
| 所属 | 氏名 | 検討会 | 部会 |
|-----------------------------|-------------|-----|----|
| 国土交通省中国地方整備局 建政部都市・住宅整備課 | 課長 辻野 満 | ○ | |
| 国土交通省中国運輸局 交通政策部交通企画課 | 課長 北川 由佳 | ○ | |

II 調査成果

1 調査目的

岡山市では、第六次総合計画で、これからのまちづくりの方向性として、「コンパクトでネットワーク化された都市づくり」を位置づけている。これを推進するため、岡山市総合交通計画策定調査検討会での議論を踏まえて、計画のコンセプト及び目標に基づき、持続可能な公共交通を中心とした交通体系の将来像を作成し、定量的な効果影響分析に基づく実効性の高い施策パッケージを位置づけた総合交通計画の策定を行う。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

■ 交通ネットワークの将来像の作成

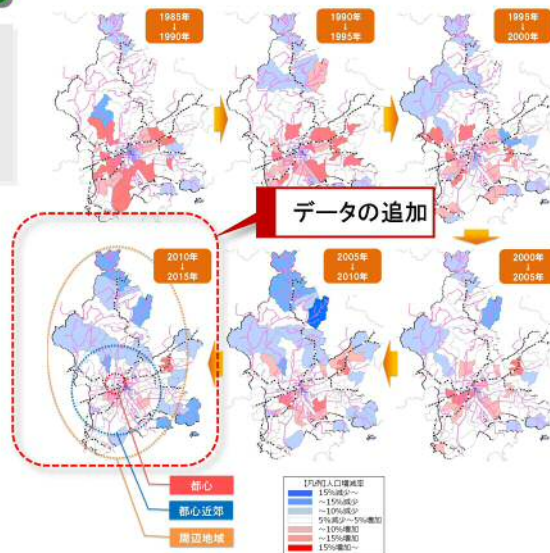
1 岡山市の現状と課題、将来見通し

- 過年度（新たな総合交通計画検討業務委託 H29.03）で整理した資料についてデータ更新をした上で岡山市の交通に関する現状・課題や市民ニーズについて示した。

■ 住みたい地域に転居後に利用したい交通手段



■ 小学校別人口の増減



2 既存調査・計画の情報整理・詳細分析

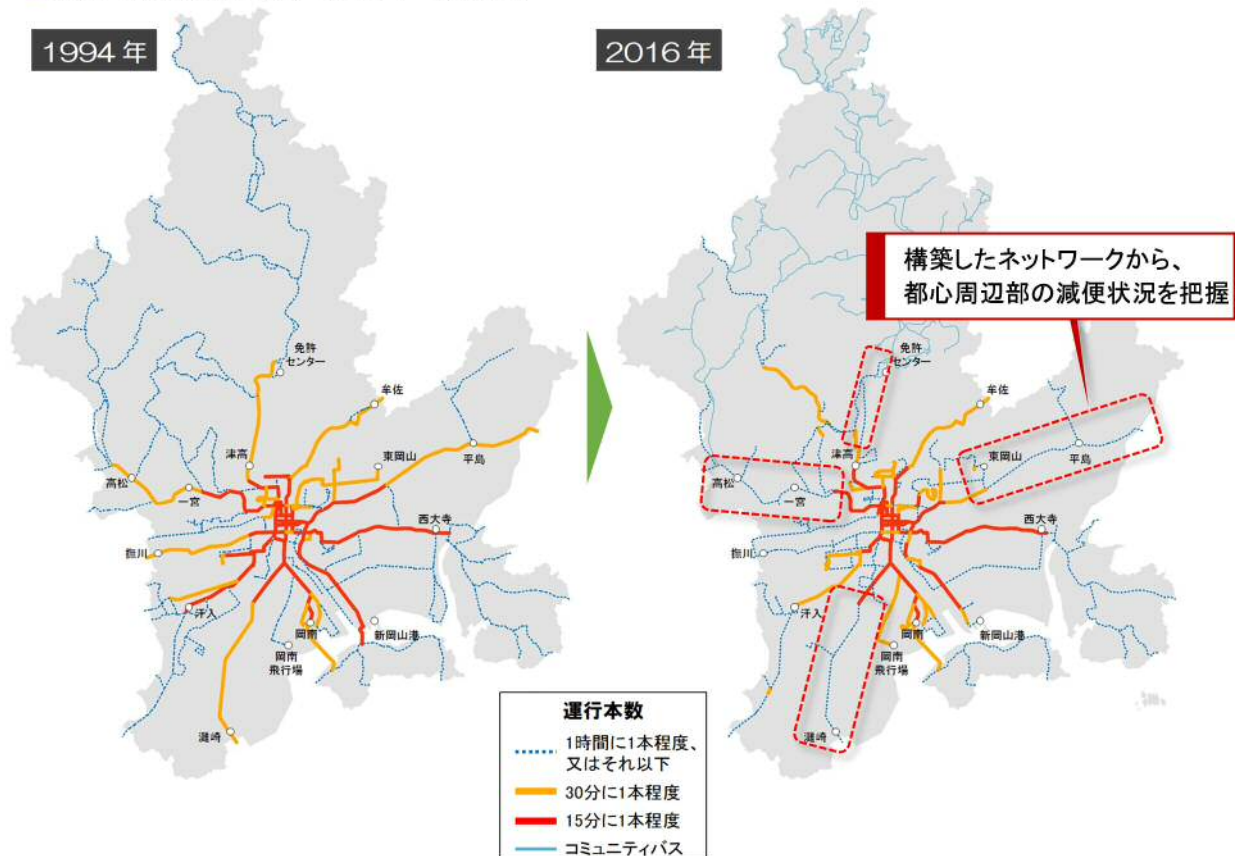
- 岡山市の現状と課題、将来見通しを踏まえ、岡山市の交通体系の将来像作成にあたり、次の6項目について情報を整理した。

| | |
|---|--|
| ① | 立地適正化計画などの土地利用計画 |
| ② | 市街地再開発や商業・物流施設等の大規模開発 |
| ③ | みちづくり計画や自転車走行空間の整備方針 |
| ④ | 連携中枢都市圏構想における隣接市町との交通分野の連携 |
| ⑤ | その他、観光政策・にぎわい創出事業、産業政策、健康増進政策、地球温暖化対策などの各分野との連動 |
| ⑥ | 電動化・自動化・情報化・シェアリングなど、交通利便性の向上を目的に導入検討されている新技術の動向 |

3 交通ネットワークの情報更新

- 交通ネットワークの情報更新として、2016年時点のバスネットワークを作成した。
- 路線別に「岡山おもてなし公共交通バスマップ」より運行本数を整理し、区間別運行本数図を作成した。
- 合わせて、1994年時点のネットワークも作成し、運行本数増減の状況を確認した。

■ 路線バスの減便の実態（1994年⇒2016年）



4 交通実態調査

- 岡山都心部における将来のトラフィックゾーンの構築を念頭に、岡山都心部に流入する自動車の実測調査と、得られたデータによる通過交通等の特性を把握する分析により、自動車流入規制の検討に資するデータを生成することを目的に、岡山都心部の交通実態調査を実施した。

■ 調査項目・数量

| 調査項目 | 数量 | 備考 |
|------------|------|----------|
| ナンバープレート調査 | 16箇所 | 平日・休日を実施 |

■ 調査日時

| 種別 | 調査日 | 調査時間 |
|----|--------------|---|
| 平日 | 平成30年2月6日（火） | 計6時間（7:00～9:00、13:00～15:00、17:00～19:00） |
| 休日 | 平成30年2月4日（日） | 6時間（11:00～17:00） |

5 岡山市を取り巻く課題の整理

- 過年度成果による岡山の現況と市民ニーズ及び本業務で調査した関連計画や、交通実態調査から、岡山市を取り巻く17の課題を整理した。

・課題はモータリゼーションを主因とする課題と、利用者の視点からみた課題があると考え、これらの課題を包括的に解決するための施策を検討

■岡山市を取り巻く17の課題

| | | |
|--|---|---|
| 01 自動車に過度に依存した暮らしからの脱却 <small>移動手段の60%が自動車であり、公共交通(電車・路線バス)はわずか7%</small> | 02 路線バスの減便・廃止の抑制 <small>主要なバス路線の利用者は20年間で36%減少し、その際、高利用線でも大幅に減便・廃止が進行</small> | 03 交通不便地域の移動手段の確保 <small>駅から800m、バス停から300m以上離れた地域に居住する人口は約20万人(そのうち65歳以上の高齢者が5万人)</small> |
| 04 中心部のにぎわい創出 <small>昼間市街地が郊外で拡大し、中心部を歩く人は30年間で半減</small> | 05 環境負荷の軽減 <small>運輸部門から排出される温室効果ガスは全体の20%を占めており、当該領域する見直し</small> | 06 交通事故の抑制 <small>年間約4,000件の人身事故(2016)が起きており、高齢者の割合が増加</small> |
| 07 利用可能なサービスの統一化 <small>移動手段で選択可能な移動手段は多岐にわたるが、連携・連携が乏しい方法などのサービスが平気で利用しづらい</small> | 08 バリアの解消 <small>経済界への導入率は、政府(地方)と比べて低く、他産業であっても、バス停との格差がある</small> | 09 複雑なバス路線網の改善 <small>経路が細分化されており、区間によっては乗換経路が重複する一方で、区外経路は乗換が少ない</small> |
| 10 洗濯場所の解消 <small>市内には、42箇所の洗濯場所があり、路線バスの設置や経済活動の活性化向上に期待がもたれている</small> | 11 自転車利用環境の向上 <small>古い自転車利用の一方で、自転車利用環境に対する満足度は必ずしも高くない</small> | 12 自動車優先から歩いて楽しいまちづくり <small>自動車優先の暮らしは歩く機会の喪失につながり、まちのにぎわい低下、健康的な生活習慣の定着化に貢献</small> |
| 13 マイカー以外の移動を中心とする生活の実現 <small>半数以上の市民が公共交通・自転車・徒歩での移動を中心とした暮らしを希望</small> | 14 「バスの減便・廃止」に対する高い不安の払しょく <small>高齢者が生活で一番不安に感じることば「バスの減便・廃止」</small> | 15 潜在的な自動車からの転換意向への対応 <small>「まだ、運転している」人のうち、20%以上が「できれば運転したくない」と思っている</small> |
| 16 市民が求める公共交通サービス水準の実現 <small>市民のニーズを多く満たすのは、15分から30分以内で運行される利用しやすい料金水準の公共交通</small> | 17 交通政策とまちづくりの連動 <small>車以外への交通手段に転換するには、歩いて回遊するスポットの増加が必要</small> | |

■モータリゼーションの急増を主因とする課題
 ■利用者の視点からみた課題
 ■市民ニーズからみた課題
 (交通サービスに関するアンケート調査(2016年度))

6 総合交通計画のコンセプトと計画の目標

- 課題の解消に向けた総合交通計画のコンセプトは、「あらゆる人の交通環境を向上させ、人とまちを元気にする」とすることを再確認した。
- 計画の目標についても、過年度設定した「安全で快適な交通ネットワークをつくる」、「日常の移動を便利にし、健幸な暮らしを支える」、「歩いて楽しい都心空間に変える」、「参加・協働により交通政策を進める」の4つとした。

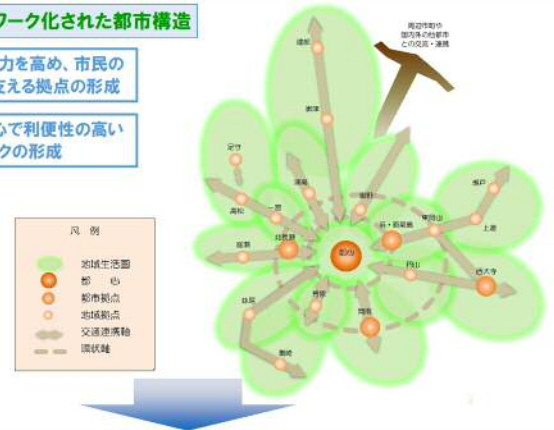
課題を踏まえた計画のコンセプトを確認

■総合交通計画のコンセプト

第六次総合計画(上位計画)で示された将来の都市の形

コンパクトでネットワーク化された都市構造

- 方向性 1 都市の活力を高め、市民の暮らしを支える拠点の形成
- 方向性 2 安全・安心で利便性の高いネットワークの形成



計画のコンセプト

あらゆる人の交通環境を向上させ、人とまちを元気にする

高齢者・身体障がい者だけでなく、大きな荷物を持った人、妊婦、乳幼児連れ、外国人等、いわゆる交通弱者を広く捉えた上で、交通弱者も含めて様々な市民・来街者が、自動車・公共交通・自転車・徒歩等を、都心・周辺部などの地域特性に応じて自由に選択して便利・快適に利用できる、環境にやさしい人中心の交通体系を築き、各地域の活性化に寄与するとともに、快適な市民生活を支える。

7 岡山市を取り巻く課題と計画の目標の関係整理

○ 4つの計画の目標と17の課題の関連性を整理した。

■ 課題と目標の関連性整理

現状の課題

| 課題の分類 | 課題番号 | 課題内容 |
|-----------------------|------|-------------------------|
| モータリゼーションの進展に伴って生じた課題 | 01 | 自動車に過度に依存した暮らしからの脱却 |
| | 02 | 路線バスの減便・廃止の抑制 |
| | 03 | 中心部のにぎわい創出 |
| | 04 | 交通不便地域の移動手段の確保 |
| | 05 | 環境負荷の軽減 |
| | 06 | 交通事故の抑制 |
| 利用者の視点からみた課題 | 07 | 利用可能なサービスの統一化 |
| | 08 | バリアの解消 |
| | 09 | 複雑なバス路線網の改善 |
| | 10 | 渋滞箇所の解消 |
| | 11 | 自転車利用環境の向上 |
| | 12 | 自動車優先から歩いて楽しいまちづくり |
| 市民意識からみた課題 | 13 | マイカー以外での移動を中心とする生活の実現 |
| | 14 | 「バスの減便・廃止」に対する高い不安の払しょく |
| | 15 | 潜在的な自動車からの転換意向への対応 |
| | 16 | 市民が求める公共交通サービス水準の実現 |
| | 17 | 交通政策とまちづくりの連動 |

計画の目標

安全で快適な交通ネットワークをつくる Safety & Comfortable

効率的で使いやすい公共交通へ改善するとともに、自動車交通とバランスのとれた公共交通を中心とする安全で快適な交通ネットワークを構築し、あらゆる人の移動の質の向上を目指します。

日常の移動を便利にし、健康な暮らしを支える Wellness & Sustainable

徒歩や自転車を中心とする環境にやさしいライフスタイルを醸成するとともに、自動車・生活交通などで身近な拠点へのアクセス性を向上させることで、都市の持続可能性を高め、生きがいを感じられる健康な暮らしの実現を目指します。

歩いて楽しい 都心空間に変える Enjoy & Activity

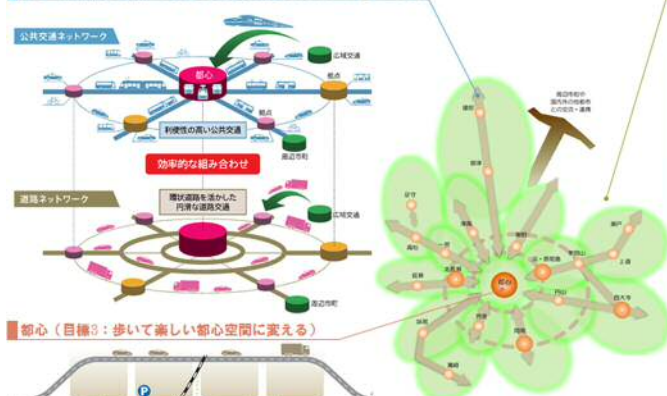
歩いて楽しい空間を創出するとともに、回遊性向上に資する公共交通ネットワークの形成により、誰もが楽しめる都心空間の実現を目指します。



8 交通体系の将来像

○ 総合交通計画では、岡山市が目指す交通体系の将来像を、3つの計画目標に対応する形で、「都心-拠点間」「拠点（地域生活圏）」「都心」の3層に分けて具現化し、それぞれ必要な実現化方策を位置づけることで、「コンパクトでネットワーク化された都市構造」の実現を目指すこととした。

都心-拠点間（目標1：安全で快適な交通ネットワークをつくる）



拠点（地域生活圏）（目標2：日常の移動を便利にし、健康な暮らしを支える）



都心（目標3：歩いて楽しい都心空間に変える）

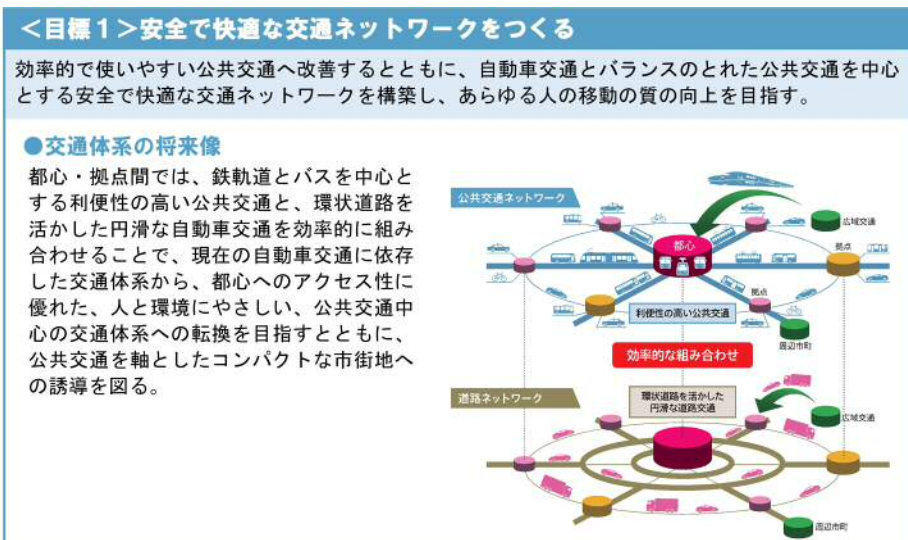


■ 施策の実施プログラムの作成

1 施策パッケージの作成

- 4つの計画目標の達成に向けた施策を検討し、それぞれ施策パッケージを作成した。

■ 施策パッケージの作成例（目標1）



| 施策パッケージ | | 施策 | |
|---------|---------------|--|---|
| 1-1 | 鉄道の利便性向上 | サービス水準の向上 | 吉備線LRT化 新機設置、運行本数増強等 駅間動体空のリアフリー化（乗降者数3千人/日以上） |
| | | 交通結節点機能の強化 | 路面電車の岡山駅前広場乗り入れ（岡山駅前広場の改良含む） 路線バス・生活交通との接続 駅周辺整備 ・北長瀬駅、野々口駅、高島駅 等 P & R・C & R駐車場の拡充 |
| | | 使いやすい運賃体系の構築 | 高齢者割引の導入 等 ICカード利用環境の拡大（チャージ機の充実含む） |
| | | わかりやすい案内情報の構築 | 案内表示の拡充・多言語化 等 |
| 1-2 | 道路整備による生産性向上 | 渋滞緩和による道路の移動円滑化 | ボトルネック交差点の改良 環状道路の整備 放射状道路の整備 |
| | | 広域交流の強化（物流軸の強化） | 地域高規格道路の整備 等 |
| | | 災害に強い道路ネットワークの形成 | 緊急輸送道路上の橋梁等の耐震化 |
| | | | |
| 1-3 | バスの利便性向上 | サービス水準の向上 | バス路線網の見える化 路線の再編・新設・増便 等 バス停のリアフリー化 低床車両の台数増強 バスの待ち環境整備 |
| | | 交通結節点機能の強化 | 鉄道・生活交通との接続 路面電車との接続強化 P & B R 駐車場、C & B R 駐車場の拡充 |
| | | 使いやすい運賃体系の構築 | 乗り継ぎ割引、高齢者割引の導入 等 ICカード利用環境の拡大（チャージ機の充実含む） |
| | わかりやすい案内情報の構築 | 案内表示の拡充・多言語化 等 ロケーションシステムの改善・拡充 | |
| | 定時性・速達性の確保 | ボトルネック交差点の改良【再】 環状道路の整備【再】 放射状道路の整備【再】 バスレーンの強化・拡充 PTPSの拡充 | |
| | 新技術の活用に関する研究 | 自動運転等の新技術の活用に関する検討（超小型モビリティ含む） | |
| | | | |

2 施策の詳細設定及び実施コストの試算

- 各目標別の施策パッケージとして示した各施策について、具体的実施内容、実施箇所・区間、順序・工程等を定めた。
- 主要施策に位置づけられる8事業の実施コストについて試算し整理した。

■鉄道サービス水準向上に関する施策一覧

| 施策 | 実施内容 | 実施箇所・区間 | 実施主体 | 実施時期 | | |
|--------------|-----------------|---------------|---------------------|--------|---------|----|
| | | | | 短期(5年) | 中期(10年) | 長期 |
| 桃太郎線LRT化 | 桃太郎線LRT化 | JR吉備線岡山駅～総社駅 | 鉄道事業者 岡山市 総社市 | → | | |
| 新駅設置、運行本数増強等 | — | 未定 | 鉄道事業者 岡山市 | → | → | → |
| 駅のバリアフリー化 | エレベーター・スロープの設置等 | 乗降者数3千人/日以上の駅 | 鉄道事業者 岡山市 | → | | |

実施時期は熟度に応じ3段階に区分

- 事業中、または継続的な取組み
- 熟度や合意形成等を回りながら事業化を目指すもの
- 実施の可能性について検討を進める事業

3 施策の実施効果・影響分析

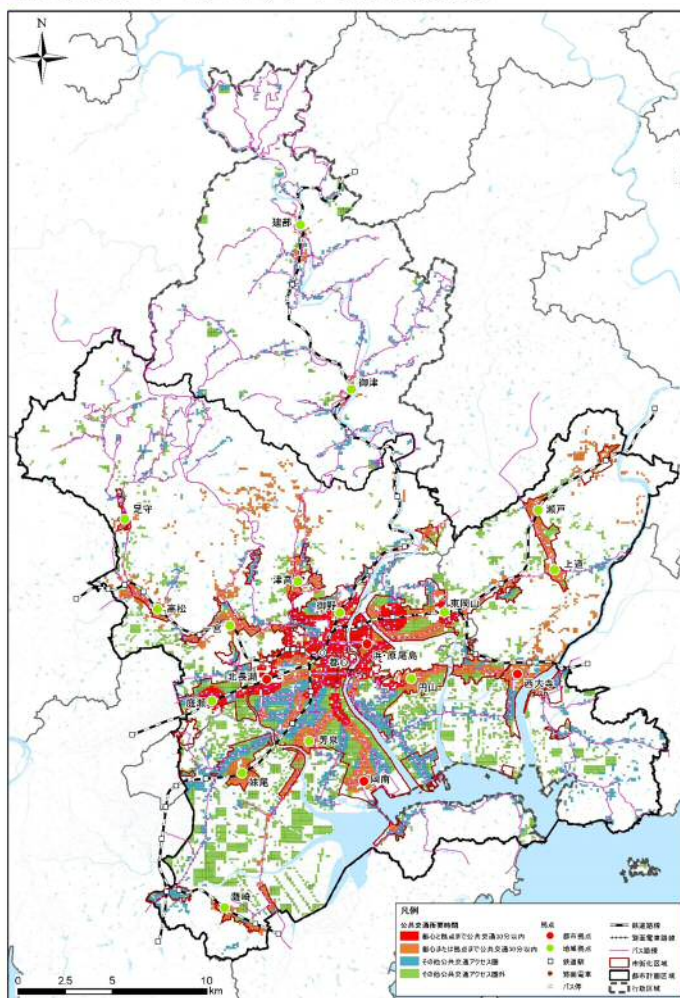
- 施策の効果・影響を評価する指標を整理した。
- 公共交通アクセシビリティ分析および将来交通量推計の実施にあたり、将来時点で導入を想定する施策の詳細を検討した。

■施策の効果・影響を評価する指標

| 指標 | 単位 | 算出方法 | |
|-------------------------------|-------|--------------------|--------------------|
| | | 現況値 | 将来値 |
| 自宅から都心や身近な拠点に公共交通で30分以内に行ける人口 | 人 | 公共交通アクセシビリティ分析より算出 | |
| 非混雑道路延長 | km | H24PT | 将来交通量推計 |
| 公共交通分担率 | % | H24PT | 将来交通量推計 |
| 公共交通利用者数 | トリップ | H24PT | 将来交通量推計 |
| 1人あたり公共交通利用回数 | 回/年・人 | 利用者実績 | トレンド推計 |
| 都心歩行者数 | 人 | 商店街通行量調査 | 総合交通計画の目標値から増加率を算出 |
| 生活交通導入地域の人口 | 人 | 人口から算出 | 将来推計人口から算出 |
| 医療費抑制効果 | 円 | — | 将来交通量推計 |

公共交通アクセシビリティの算定結果例

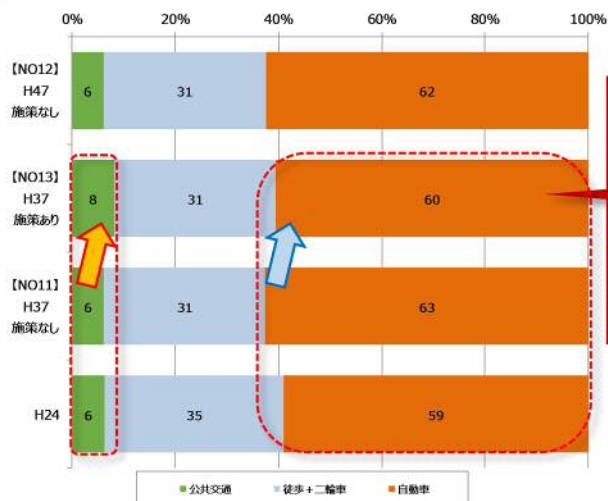
- ・100mメッシュ別に計算した公共交通アクセシビリティをGISを活用し図化
- ・都心や拠点に30分以内でアクセス可能な地域を把握



アクセシビリティ算定方法



将来交通量推計結果の比較（交通手段分担率）



- ・ケース別の将来交通量推計結果を比較
- ・将来、施策を導入しない場合、自動車分担率が4%増加
- ・一方、施策を導入した場合は、公共交通分担率が2%増加し、自動車分担率は3%減少

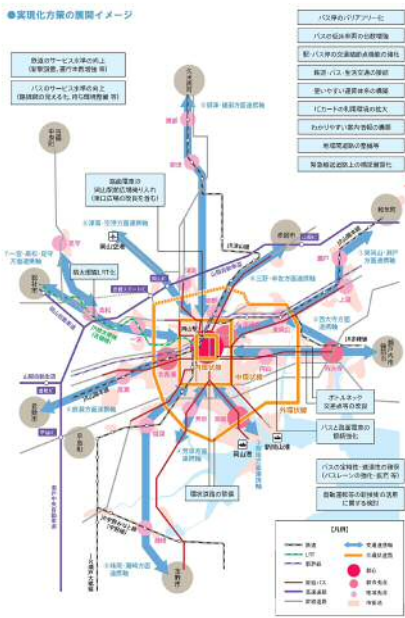
4 施策プログラムの策定

○ 各施策パッケージについて、施策導入の背景、事業プロセス、実施方針、実施及び運用コスト等について施策の実施プログラムとしてとりまとめた。

■ 施策の実施プログラム (抜粋)

●実施化方策の実施プログラム

| 施策 | 引継ぎ等にかかる実施内容 | 実施主体 | 実施時期の目標 |
|--------------|-------------------------------|--------|--------------------|
| スマートモビリティの向上 | 観光路線のMT化 | 主要施策 1 | 観光路線事業者、岡山県、岡山県民生活 |
| | 新駅設置、運行本数増強等 | — | 鉄道事業者、岡山県 |
| | 駅のバリアフリー化 | 1号~3号 | 鉄道事業者、岡山県 |
| | 路線電車の岡山駅周辺区域等への乗り入れ(乗り入れの改善等) | 主要施策 2 | 鉄道事業者、岡山県 |
| | 路線バスと公共交通との連携 | 10箇所程度 | 鉄道事業者、岡山県 |
| | 駅間バス | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 駅間バス | 1号~2箇所 | 鉄道事業者、岡山県 |
| | 駅間バス | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 駅間バス | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 駅間バス | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| 観光路線の振興 | 観光路線の振興 | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 観光路線の振興 | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 観光路線の振興 | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 観光路線の振興 | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 観光路線の振興 | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 観光路線の振興 | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 観光路線の振興 | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 観光路線の振興 | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 観光路線の振興 | 1号~2箇所 | 岡山県 |
| | 観光路線の振興 | 1号~2箇所 | 岡山県 |



・施策内容、実施主体、実施時期を一覧でとりまとめ
 ・施策の展開イメージを作成

■ 総合交通計画の策定

1 計画書の作成

○ 国内外の先進的な取り組みを進めている都市の計画書の収集を行い、本計画書のデザイン案を検討し、本デザイン案をもとに計画書を作成した。

2 市民にわかりやすいパンフレットの作成

○ 計画書を広く市民に数値するためのパンフレットを作成した。(別紙参照)

■ 作成したパンフレット

市民目線で視覚的にわかりやすいように図や写真を中心に構成



3 計画策定に向けた検討会及び説明会の開催支援

- 新たな総合交通計画を検討する以下の検討会・作業部会において、各回の協議資料を作成した。

| 年 | 日時 | 会議名 | 配布資料 |
|-------|---------------------------|---------------------------|--|
| 平成29年 | 7月3日 13:30 ～15:30 | 第3回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 作業部会 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席者名簿・配席表 ・資料 1 - 1 : 交通体系の将来像と実現化方策 (案) ・参考資料 : 現状の課題 (第1回・第2回検討会資料から抜粋) |
| | 11月22日 10:00 ～12:00 | 第4回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 作業部会 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席者名簿・配席表 ・資料 1 - 1 : 第3回作業部会等での主な意見と対応 ・資料 1 - 2 : 交通体系の将来像と実現化方策 (案) ・資料 1 - 3 : 主な施策の概要 ・資料 2 : 計画の遂行体制と評価について ・参考資料 1 : まちづくりの動向 |
| 平成30年 | 1月25日 10:00 ～12:00 | 第5回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 作業部会 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席者名簿・配席表 ・資料 1 : 交通体系の将来像と実現化方策 (案) ・資料 2 : 主な施策の概要 ・資料 3 : 計画の評価について ・参考資料 1 : 庁内検討会での意見 ・参考資料 2 : まちづくりの動向 |
| | 4月18日 13:30 ～15:30 | 第3回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席者名簿・配席表 ・資料 1 - 1 : 交通体系の将来像と実現化方策 ・資料 1 - 2 : 主な施策の概要 ・資料 2 : 計画の評価と進め方について ・資料 3 : 岡山市総合交通計画 (素案) |

4 パブリックコメントの実施

- 総合交通計画 (案) を作成の上、市ホームページ等を通じて公表し、パブリックコメントを実施した。
- 寄せられた意見を分類・整理し、必要に応じて計画書の修正を行った。

■実施概要

| 項目 | 内容 |
|--------|--|
| 募集期間 | 平成30年7月3日 (火) ～7月31日 (火) |
| 閲覧場所 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通政策課 (市役所本庁舎 6階)、情報公開室 (市役所本庁舎 2階) ・各区役所 (総務・地域振興課)、各支所 (総務民生課)、各地域センター ・岡山市ホームページ |
| 意見提出方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・電子メール、ファクシミリ、郵送、持参のいずれかの方法により、交通政策課に提出 |

■ 行政支援のあり方に関する検討

1 政令指定都市の都市交通政策への投資状況の調査

- 岡山市の交通政策の財源確保や投資のあり方検討を目的に、国内の政令指定都市を対象に、都市交通政策への投資状況を把握するためのアンケート調査を実施した。

■ 調査票（抜粋）

アンケート調査票（以下の問1～問4にお答えください。）

問1. 以下の都市交通施策の取り組み・支援状況についてお答えください

1. 鉄道に関する取り組みについて

1) 民間事業者への運行経費に対する補助

| | |
|---|--|
| ① 支援の実施状況 （補助金交付など） ※該当する番号に○ ※複数回答可 | 1. 実施している（平成 年から） →2へ 2. 実施に向けて検討中 →2へ 3. 実施していたが終了した →2へ 4. 実施していない →2へ （実施する予定はない） |
| ② 支援の内容（検討内容） | （記入前）○○に関する経費から○○を減じた額の1/2を補助 |
| ③ 支援の規模 | 平成26年度 千円 平成27年度 千円 平成28年度 千円 |
| ④ 国・都道府県等の補助金・交付金の活用 | （記入前）○○に関する経費の1/2に○の○事業の補助を活用 |
| ⑤ 支援拡充の可能性 ※該当する番号1つに○ | 1. 拡充する方針決定をしている 2. 拡充について担当課で検討中 3. 縮小について決定または検討中 4. 今のところ拡充または縮小する予定はない |

2) 駅やレールなど各種施設の維持管理・改修に関する支援

| | |
|---|--|
| ① 支援の実施状況 （補助金交付など） ※該当する番号に○ ※複数回答可 | 1. 実施している（平成 年から） →2へ 2. 実施に向けて検討中 →2へ 3. 実施していたが終了した →2へ 4. 実施していない →「2」へ （実施する予定はない） |
| ② 支援の内容（検討内容） | （記入前）○○に関する経費の1/2を補助 |
| ③ 支援の規模 | 平成26年度 千円 平成27年度 千円 平成28年度 千円 |
| ④ 国・都道府県等の補助金・交付金の活用 | （記入前）○○に関する経費の1/2に○の○事業の補助を活用 |
| ⑤ 支援拡充の可能性 ※該当する番号1つに○ | 1. 拡充する方針決定をしている 2. 拡充について担当課で検討中 3. 縮小について決定または検討中 4. 今のところ拡充または縮小する予定はない |

1

2 海外先進都市の都市交通政策への投資状況及び財源確保の取り組み事例の整理

- 海外先進都市の都市交通政策への投資状況及び財源確保の取り組み事例として、以下の5都市を対象に、交通施策の取り組み状況と財源制度等についてとりまとめた。

■ 対象都市と主な交通政策

| No | 都市名 | 国名 | 主な交通関連施策 | | | |
|----|---------|------|-------------------|-----|------------------|--------------|
| | | | LRT | BRT | 財源制度 | 運営制度 |
| 1 | ストラスブール | フランス | ● | — | ● (交通税) | — |
| 2 | ポートランド | アメリカ | ● | — | ● (TIF) | — |
| 3 | カールスルーエ | ドイツ | ● (カールスルーエモデル) | — | ● (鉱油税) | — |
| 4 | クリチバ | ブラジル | — | ● | — | — |
| 5 | ソウル | 韓国 | — | — | ● (ロードプライシング) | ● (準公営制度) |